

令和 3 年度千葉市芸術文化振興事業補助金 事業実施報告

市民参加事業	申請事業数 8 事業、採択事業数 7 事業 (一次募集：申請事業数 5 事業、採択事業数 4 事業) (二次募集： " 3 事業、 " 3 事業)
--------	---

1. 開催

(1) シティオペラちば公演「コシ・ファン・トゥッテ」(一次募集)

主催団体	シティオペラちば
事業概要	団員や市民参加者出演による、モーツァルト作曲のアンサンブルオペラの公演を行う。
補助金額	200,000 円
日 時	令和 4 年 3 月 19 日 (土) 12 時 30 分～15 時 30 分 (12 時 00 分開場)
会 場	美浜文化ホール メインホール
事業実績	出演者 20 人 (うち一般参加者 18 人) 来場者 334 人 (うち一般観客動員 272 人)
主 催 者 感 想 等	今回の公演は、前宣伝の成功もありコロナ禍だが、会場が満員になり、当日券に人が並び、結局 4 人の方が入れないという結果になった。コロナで過去 2 年間公演が出来なかったことを考えると、この結果は予想もしていなかった。観客数 50%も覚悟し、コロナ対策には神経を使った。 施設の方針に従い、歓声を伴わない (拍手のみ) 公演であれば満席可とのことだった。ただし、舞台上の制約はあり、発声を伴う 4 人以上が舞台に立つときは、マスク着用という決まりを完全に順守した。オペラ上演という現実から考えると、マスクをして歌うということの困難は計り知れないものがあつたが、普段の練習時からマスク着用だったため、団員自身がかなり慣れていたとも思う。願わくは、マスク無しの公演ができる日が早く来てほしいと思う。また、男声については 90 歳、87 歳の方も立派な歌唱を実現できた。高齢化社会の中で、長く活躍できる芸術文化活動として、大事にしていきたいと本当に思った。観客も高齢者が多く、高齢者が頑張っていることから、ぜひ見たいと共感性もあつたように思う。コロナで活動停止の高齢者の合唱団なども多いように思う。やり続けていないとこういう団体は継続できない気がする。高齢化による様々な問題を何とかクリアして今後も息長くこの活動と、「喜ばれる公演」を目指していきたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none"> 自由席だったが、ほぼ満席のため立見が 10 人程度おり、オペレーションの工夫が必要と感じた。 チケットが完売しており、オペラの需要が高いと感じた。 所々笑い要素を入れており、観客が楽しんでいた。 ステージ後ろのスクリーンに歌詞が表示されていて、歌が聞き取れない場合でも分かりやすかった。



(2) 和—楽しもう鑑賞と体験— (一次募集)

主催団体	伝統芸能に親しむ会
事業概要	囃子・箏・日本舞踊・琉球舞踊・津軽三味線の公演と、講師指導による伝統芸能の体験を行う。
補助金額	198,000 円
日 時	令和 4 年 2 月 19 日 (土) 13 時 00 分～15 時 30 分
会 場	千葉市文化センター アートホール
事業実績	出演者 15 人 (うち一般参加者 12 人) 来場者 130 人 (うち一般観客動員 105 人)
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの関係で、事前にイベントを実施するかどうかの問い合わせが10数件ほどあり、楽しみにしている方々から感謝の言葉をいただいた。 ・今年度は琉球舞踊の公演を行い、大変好評であった。多くの方から感動したとのコメントをいただいた。時期もあって雛人形を近隣の人形展から借り、飾った。お囃子の説明の中で雛人形について言及し、和の雰囲気を楽しんでもらった。芸能に限らず日本の伝統文化を鑑賞できる場となった。 ・アンケート結果によると、各公演について、興味を持って楽しく参加したなどのコメントをいただいた。今回もステージ上で体験活動をしたので、体験をしている方々は言うに及ばず、見ている方にとっても、より和の文化に触れる機会になった。また、ネットによる配信を行い、アーカイブもあるため、多くの人に見ていただくことができた。後から高評価のコメントをいただいた。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムで英語が用いられており、外国人への意識も感じられた。 ・伝統芸能に親しみを持ってもらうため、観客を巻き込んだ説明をしており、バラエティーに富んだ内容だった。 ・ステージ上での体験は、学生など若年層の参加率が高かった。



(3) 第51回千葉県水墨画同好会連合会展（一次募集）

主催団体	千葉県水墨画同好会連合会
事業概要	水墨画同好会連合会会員及び公募による水墨画・墨彩画・表装（掛軸）の展示や、来場者への水墨画・墨彩画体験を実施。
補助金額	200,000円
日時	令和3年7月13日（火）～7月18日（日）9時00分～16時30分 ※体験コーナー 7月16日（金）～7月17日（土）10時00分～15時00分
会場	千葉県立美術館 4、5、6、7展示室
事業実績	出展者 165人（うち一般参加者34人） 来場者 11,719人（うち一般観客動員1,588人） 体験コーナー参加者 54人（うち児童4人） 出展数 357点（うち公募44点、特別出品16点）
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術文化の振興は長い年月かけて育んでいくことが必要と思われます。少子高齢化社会が進む中、一愛好家団体によるボランティア活動では資金面や体力面で限界がありその振興はなかなか進まないのが現状。 ・ 当連合会も会員減少傾向が続いており今後の事業の継続が危ぶまれる状況。 ・ 今後、芸術文化活動の推進には行政の更なる支援（公共施設での各種（水墨画）講座の開催、普及活動に対する補助金の拡大等）が望まれる。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観賞者は高齢層が多かった。 ・ 展示作品が多いため、見応えがあった。来場者が水墨画を始めるきっかけとなる工夫があるとさらに良いと思う。 ・ 体験コーナーは10席ほどが満席だった。 ・ 体験コーナーの内容は、基本的な線の引き方を学んだ後、竹を描くというもので、水墨画に親しむための入口として良い体験であると感じた。親子で楽しんでいる姿もあった。

(4) ヨーソロー元気発信プロジェクト（二次募集）

主催団体	ヨーソロー1000人プロジェクト実行委員会
事業概要	和太鼓、篠笛、踊りの演奏・演舞と和太鼓体験を行う。
補助金額	198,000円
日時	令和4年3月13日（日） 10時30分～16時00分
会場	豊砂公園
事業実績	出演者 308人（うち一般参加者108人） 来場者 2,000人
主催者感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回はステージなどを使用せず高額な経費の支出がなかったので感じたのだと思うが、経費の使用について制限があり、使いづらいと感じた。参加賞として市民に渡したリストバンドは経費外だったので、レンタル費用などに主に使ったが、ハードルの高い補助金というより、要望としては今後使用施設の減免など多くの方が利用できるようにしたらよいのではないかと思った。 ・ 市民参加型として市民への還元にするのならば、市民に提供する何かは、実行委員が少なからず関わっている訳でそこに使えないことが少し理解できなかった。使い勝手の良い補助金にしてもらえたらありがたいと思う。 ・ ボランティアでイベントを行うにも限度があり、ガソリン代など実行委員へ支払うことも大切。そこら辺の対策があり、もう少し主催者がより主催しやすい補助金をお願いしたいと感じた。
視察所見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場が遊具のある広い公園かつイオンモール幕張新都心の目の前のため、通りすがりの人が見ていく印象だった。 ・ 体験の参加者は幼稚園から小学校低学年が多い印象だった。



(5) おゆみ野文化祭 2021 (二次募集)

主催団体	アートタウンおゆみ野
事業概要	市民による作品展示(絵画・写真・書・陶芸・生け花と手作り品)、講演、紙芝居、手作り体験等、地域住民を中心とした文化祭。
補助金額	74,000 円
日 時	令和4年3月12日(土) 11時00分~17時00分 令和4年3月13日(日) 9時00分~15時00分
会 場	鎌取コミュニティセンター
事業実績	出演者 60 人(うち一般参加者 50 人) 来場者 600 人
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ おゆみ野文化祭は、その前身であるコミコン(コミュニティ懇談会)祭りから、この街とともに歩んできた歴史がある。文化芸術で盛り上げようとの意図で始まり、それなりに認知され支持され継続できてきた。しかし、この活動母体である「アートタウンおゆみ野」はその会員数が減少し、新規会員もほとんどいない。今回の活動もごく限られた人数で企画・実行している。今回は参加者にも相応の作業をしてもらい、当事者意識を持ってもらえるようにした。参加者自身が主体的に作るイベントにしていきたい。そのために、この活動について準備段階から情報を発信することにより、参加者と課題を共有し、アイデアを募り、お互いに連携し、仲間として文化祭を作り上げていく工夫が必要であろう。また、地域を盛り上げる、地域の魅力を発掘しPRするという観点から、地域で活動している団体にも参加してもらい、地域の魅力や活動内容の紹介の場とすることも考えられる。芸術・文化の発表の場であるおゆみ野文化祭をきっかけにし、歴史や自然に恵まれていることをの住民に知ってもらうことで地域への愛着がわき、こうした活動への関心が高まることを期待する。 ・ アートタウンおゆみ野は、おゆみ野地区地域運営委員会の構成団体であるが、おゆみ野文化祭を支えてもらうとともに、こうした地域活動を紹介する場として活用することも、おゆみ野文化祭を継続し発展させていくためには重要であると考え。 ・ 次回は、そうしたことも踏まえて、主催者と参加者、地域活動団体との連携をとり、参加者・住民との距離を縮めていきたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来場者は高齢者が多い印象だったが、子ども連れも多数いた。 ・ 屋外の円形広場開催していた「手づくり市」は、閑散とした印象を受けた。他のイベントと場所が離れており、開催自体分かりづらいため、積極的な案内や導線を設けるとよいと思う。 ・ 近隣サークルの発表の場として、地域の人が作成した作品を鑑賞する機会になっており、地域に根差したイベントであった。



(6) 第5回 MOA 美術館ちば児童作品展 (二次募集)

主催団体	MOA 美術館ちば児童作品展実行委員会
事業概要	市内小学校 1～6 年生を対象とした絵画の応募、審査、展示の開催。
補助金額	130,000 円
日 時	【全体展示】 令和3年11月23日(祝・火)～11月28日(日) 10時00分～18時00分 【巡回展】 令和3年12月21日(火)～12月27日(月) 10時00分～20時00分
会 場	【全体展示】 千葉県美術館 市民ギャラリー 【巡回展】 そごう千葉店 地階ギャラリー
事業実績	出展者 583 人 来場者 313 人 (市民ギャラリー) 作品応募数 583 点、参加学校数 30 校
主 催 者 感 想 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回はコロナ禍での開催で、事情を考え、応募数に制限を設けるか等議論の末、コンセプトを更にしっかりと学校側に伝えることに重点を置いた。応募点数は一昨年の半分となったが、出展児童のそれぞれの思いが明確な作品が多かった。全てにおいて慎重に実施する事になったが、関係者等に感染者を出すことなく無事に実施でき、安心している。 ・ 地域展(医療機関等)は出来なかったが、市民ギャラリーでの展示やそごう地階ギャラリーでの巡回展は実施でき、市民ギャラリーでは、新しい試みとしてモニターを活用し、美術に関するDVDを来館者に楽しんでもらった。さらに市民ギャラリー展示の充実を図っていきたい。 ・ 今後もコンセプトである児童の「生きる力」を育むことをベースに、この事業を支える家族やボランティア、さらには作品を鑑賞する市民の方々の「生きる力」をサポートし、地域社会の皆で児童の健全育成に繋がる一助となる作品展を目指していきたい。
視 察 所 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金曜日午前中に視察したが、観客はいなかった。 ・ 入賞作品児童の感想文も一緒に展示されており、制作者の思いが伝わる良い試みだと思う。 ・ 全市的な規模で小学生の作品が美術館に展示され、かつ一般の方にも気軽に鑑賞してもらえる機会は、貴重だと感じた。



2. 中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点）

(1) NPO 法人ドルチェ邦楽合奏団第 2 2 回千葉定期公演（一次募集）

主催団体	特定非営利活動法人ドルチェ邦楽合奏団
事業概要	会員、公募による参加者が共演する公演。
補助金額	0 円
日 時	令和 3 年 10 月 31 日（日）14 時 00 分～16 時 00 分
会 場	千葉市文化センター アートホール